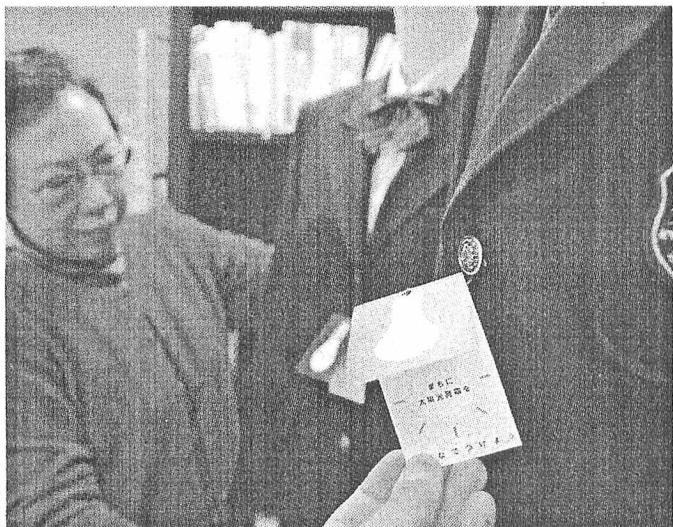


# 省エネ教育後押し



制服にタグを付け、販売代金の一部を省エネのための寄付に回す仕組みをPRする(京都市下京区)

下京のNPOが仕組み

学生服の販売代金から寄付を受け、太陽光発電設備の普及や環境学習の経費に充てる仕組みを、京都市下京区のNPO法人が立ち上げた。寄付にかかる

幅広い人を省エネ社会を目指す当事者として巻き込む仕掛けだ。購入先の京都御池中(中京区)で27日、初の出前授業を開き、寄付の

京都御池中へ制服を販売する同店が、売り上げのうち1着当たり百円を同法人の基金へ寄付する。同法人は、来春から市内の保育園で計画している設置費用に活用する。27日には同中へ講師を派遣し、地球温暖化問題を解説したり、同中にあらる自然エネルギー利用装置の意義を生徒たちに説明する。

同中販売分の寄付額の見込みは2万円程度。総額1千万円を超

京都御池中  
27日  
に

初の出前授業

## 学生服販売金から寄付

す設置費用を考えればわずかな額だが、同法人は「協力企業や制服を着るすべての子どもが当事者となり、自ら

の行動で自らの地域の在り方を変えることに

付の協力を呼び掛ける

という。問い合わせは

つながる」と波及効果を期待する。

ほかの販売店にも寄

付の協力を呼び掛ける  
いう。問い合わせは  
同法人8075(325)  
2)9150。  
(本田貴信)